

# 関西大学心理学研究

第7号 2016年3月

串崎真志

相手の匂いをかくことが動作の模倣に及ぼす効果…………… 1

関口理久子

情動的な自伝的記憶の想起と再構成についての検討…………… 7

脇田貴文・栗田宜明・富永直人・加藤欽志・紺野慎一・福原俊一・柴垣有吾

成人慢性疾患患者における「希望」の概念の検討  
—— インタビュー調査（質的研究）を通して —— …………… 17

博士論文・修士論文 抄録集…………… 35

No.7 March, 2016

# Kansai University Psychological Research

**Masashi KUSHIZAKI** (*Faculty of Letters, Kansai University*)

The Effect of Smelling a Partner's Scent on Their Motor Mimicry ..... 1

**Rikuko SEKIGUCHI** (*Faculty of Sociology, Kansai University*)

Investigation of Recall and Reconstruction of Emotional  
Autobiographical Memory ..... 7

**Takafumi WAKITA** (*Faculty of Sociology, Kansai University*)

**Noriaki KURITA** (*Department of Innovative Research and Education for Clinicians and  
Trainees (DiRECT), Fukushima Medical University Hospital*)

**Naoto TOMINAGA** (*Division of Nephrology and Hypertension, Department of Internal Medicine,  
St Marianna University School of Medicine*)

**Kinshi KATO** (*Department of Orthopaedic Surgery, Fukushima Medical University School  
of Medicine*)

**Shinichi KONNO** (*Department of Orthopaedic Surgery, Fukushima Medical University School  
of Medicine*)

**Shunichi FUKUHARA** (*Department of Healthcare Epidemiology, Graduate School of  
Medicine and Faculty of Medicine Kyoto University*)

**Yugo SHIBAGAKI** (*Division of Nephrology and Hypertension, Department of Internal Medicine,  
St Marianna University School of Medicine*)

Hope in Adult Patients with Chronic Disease: Qualitative Study ..... 17

**Summaries of Doctoral Dissertations and Master's theses** ..... 35

Graduate School of Psychology, Kansai University

## 編集委員会

---

雨宮俊彦\* 池内裕美 菅村玄二 (\*編集委員長)

## 編集規程

---

1. 本誌は、関西大学心理学研究科の機関誌として、年1回発行する。
2. 本誌の編集は、関西大学心理学研究科内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
3. 本誌は、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員ならびに教員と連名の研究者の論文の掲載にあてる。ただし、第一著者となれるのは、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員、大学院生、および研究生に限る。
4. 論文は未公開のものに限る。ただし、学会や研究会等での発表（口頭、ポスター、講演等）は除く。
5. 論文は、編集委員によって審査され、その掲載の可否が決定される。
6. 論文の原稿の長さは、表題、要約、図表・注・文献を含め、原則として、日本語論文は刷り上がり10ページ以内、英語論文は6500語以内とする。
7. 論文の構成および表記は、日本心理学会編「執筆・投稿の手びき2005年改訂版」に準拠したものとする。
8. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
9. 執筆者（第一著者）に対しては、抜刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
10. 本誌に掲載された論文の著作権は関西大学心理学研究科に帰属する。ただし、内容についての責任は著者が負う。